

平成24年度
実施事業

事務事業名

三市合同女性国内派遣研修

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|--|
| 章 | 1 | やさしさと共生するまち |
| 節 | 4 | 男女共同参画社会の実現 |
| 施策 | 2 | 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現 |
| 小分類 | 1 | 女性の社会参画の促進 |
| 主要な施策 | 1 | ①地域活動、市民活動への女性参画の促進 |
| 事務事業番号 | 002 | 事業開始年度 昭和 58 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-----|-------|----------|
| 部 名 | 教育部 | グループ名 | 社会教育グループ |
|-----|-----|-------|----------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|----------|---|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | 社会教育関係団体等の指導者として活躍が期待できる女性を育てることを目的とする。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) |
| | <ul style="list-style-type: none"> 市内で活動している女性を、女性の社会参加や地域活動、学習活動についてのフォーラムやワークショップを行っている先進地（独立行政法人国立女性教育会館：通称NWE Cヌエック 埼玉県嵐山町）に派遣し、研修を行う。 登別・室蘭・伊達の三市合同事業として実施（各市3人）。 <p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 期間 平成24年8月23日（木）～8月26日（日） 研修内容 「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」参加、施設見学等 ※派遣研修の前後に研修を実施 |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 登別市の男女共同参画推進を将来的な目標にみすえ、今後も研修参加者の女性リーダーとしての資質の向上に寄与する。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | 室蘭・登別・伊達三市合同女性国内派遣研修実施要項 |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区分 | | 単位 | H23年度 決算 | H24年度 決算 | H25年度 当初予算 | H26年度 見込 | H27年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 270 | 180 | 280 | 280 | 180 |
| 事業費 合計 | | | 270 | 180 | 280 | 280 | 180 |

指標の推移

《Check》

| 区分 | | 単位 | 区分 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 目標 | 26年度 目標 | 27年度 目標 |
|----------|--------|-----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | ① 派遣者数 | 人 | 目標値 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | | 実績値 | 3 | 3 | | | |
| | ② | 目標値 | | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | | |

比較 《 Check 》

| | |
|--|---|
| <p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <p>市内で活動している女性を、女性の社会参加や地域活動、学習活動についてのフォーラムやワークショップを行っている先進地（独立行政法人国立女性教育会館、埼玉県嵐山町）に派遣して研修を積んでいただき、研修後は地域のさまざまな場面でリーダー的役割を担っていただいている。</p> | <p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <p>三市合同の事業であり、女性リーダーの育成、資質向上は登別市の男女共同参画推進にも寄与することから、今後も事業を継続して行う。</p> |
|--|---|

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

| 1. 事務事業の妥当性について | | |
|-----------------------------------|--|---|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している | <p>判断理由及びその他所見</p> <p>登別・室蘭・伊達の三市の合同事業であることから、女性リーダーとしての資質向上を図るため、市が主体的に行うことは妥当である。</p> |
| 2. 事務事業の必要性について | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い | <p>判断理由及びその他所見</p> <p>三市の合同により行っている事業であることに加え、登別市における男女共同参画推進を図るため、その素地となる女性リーダー育成は必要である。</p> |
| 3. 事務事業の効率性について | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる | <p>判断理由及びその他所見</p> <p>現在も参加者から旅費等の一部について自己負担いただいております。適正なコストバランスで効果をあげている。</p> |
| 4. 事務事業の成果について | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | <input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である | <p>判断理由及びその他所見</p> <p>研修後、所属団体でリーダー的役割を担っているほか、過去の派遣事業参加者が団体を結成し、更に研修を重ね、各々が所属する団体等で活動に活かす取り組みを行っている。</p> |

①担当グループによる評価 《 Check 》

| | | |
|-----------|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) | 室蘭・登別・伊達の三市で行っている事業であること、国立女性教育会館(又エック)での研修により男女共同参画社会の実現に向け、女性リーダーとしての資質の向上が期待できるため。 |
|-----------|----------------------|---|

②行政評価会議による評価 《 Check 》

| | | |
|-----------|----|--|
| 維持 | 備考 | |
|-----------|----|--|